

ふたばこども園

園便り 3月号

令和3年3月5日発行

ふたばっ子

文責 園長 納富博文

※園だより「ふたばっ子」はホームページでもご覧いただけます。

ご卒園おめでとうございます



ももの花

春の訪れが間近となり、陽射しも温かく感じられるようになってきました。年長組では、卒園式(13日)に向けての準備が始まりました。

園の最年長として、また園のリーダーとして「かっこいい」姿で卒園したいと、返事や卒園証書の受け取り方など、真剣に取り組み、その意気込みに一段と成長した様子が感じられます。

令和2年度は、75名の『ふたばっ子』が園を巣立ち、市内15の小学校へ進学します。「子ども中心の教育・保育」の中で学び、一年一年の成長がめざましかった学年でした。特に、昨年度末から新型コロナウイルス感染症が流行し、その対応や対策のために、遊びや活動、行事など制限や中止を余儀なくされ、いろいろな面でこれまでとは異なった園生活でした。しかし、子どもたちはコロナ禍の中でも、運動会やおたのしみ会などの行事、ハロウィンやレストランごっこなどの「遊び」、それぞれの環境に順応し、遊びを見出し、「遊び」の天才として遊び込む中で、協同性や協調性、創造力や思考力・表現力等がめきめきと育ちました。コロナ禍だからこそ、コロナ禍ができる、これまでにない新しい内容の行事や園生活を創り出しました。

園が目指す子ども像「やさしく・かしこく・たくましく」のとおりに成長しました。卒園式では、そうした大きな成長を心から喜び、祝福してあげたいと思います。

卒園に向けて、とても忙しい年長さんですが、残り少ない園での生活を友達や先生たちと大切に過ごして欲しいと思っています。

ふたばの会 執行部及び役員の皆様 ありがとうございました

「ふたばの会」執行部の皆様には、日々お忙しい中、主体的かつ献身的に活動していただきました。コロナ禍の中、計画しておられた活動は中止や制限を余儀なくされ、これまでのような活動ができずには大変だったことと拝察します。それでも、本園の「子ども中心の教育・保育」という方針をご理解いただき、その実践に向けてたくさんの支援をいただきました。また、コロナ禍ができる行事の精選や内容の改新などにご苦労をいただきました。皆様のお力添えで、子どもたちの喜ぶ顔や満足した様子をたくさん見る事ができました。本当にありがとうございました。

子どもを中心と考えた保護者の皆様の温かいご支援やご協力に助けられ、支えられて、一年間の園運営ができました。心より感謝いたします。本当にありがとうございました。

園の自己評価へのご協力ありがとうございました

1月に実施しました「園の自己評価アンケート」へのご協力ありがとうございました。アンケート回収率は98.0%で、昨年度の84.3%から大きく向上しました。保護者の皆様の園へのご協力と教育・保育や運営の在り方に対する関心の高さに、改めて感謝いたします。

集計の結果、保護者様には調査13項目すべてにおいて「A」評定(85%以上そう思う)という高い評価をいただきました。ただ、いろいろなご意見もいただきました。いただいたご意見は真摯に受け止め、今後の園の運営や教育・保育の参考にし、活かしていきたいと思います。

また、2月25日に関係者評価委員会を開催し、園の自己評価について審議していただき、委員の皆様からご意見をいただきました。その結果をもとに「令和2年度園の自己評価」を作成し、旭学園理事長に稟議をした後、3月末にホームページに掲載し、公表する予定です。

まだまだ気が抜けません・新型コロナウイルス感染症

大阪や福岡など一都三県を除いた大都市の緊急事態宣言は解除されましたが、コロナが終息したわけではなく、再び流行の拡大が起こらないか心配です。県内では、2月中旬頃には陽性者が0という日がありました。カラオケ喫茶を中心としたクラスターが発生しました。九州では陽性者が減少している中で、佐賀県は福岡県に次いで陽性者が多い日がありました。保護者の中には、間近なところで、間近な同僚の中に、濃厚接触者があったりということもあります。

ワクチンの接種が国内でも始まりましたが、まだまだ気が抜けない状況が続くようです。気を緩めない行動をしなければと、毎週の職員連絡会では、職員全員で意思疎通をしています。

こうした状況を踏まえ、卒園式はクラス毎に、時間短縮及び参列数を制限して行う予定です。また、状況によっては、来年度の入園式やPTA総会などにも影響がでるのではないかと心配をしています。

園の活動や行事などでコロナ対策を迫られることがある場合は、保護者の皆様に緊急メール(はなる連絡帳)でお知らせします。ご理解とご協力を願います。